

要 望 書

平成30年10月31日

一般社団法人 苫小牧建設協会

要 望 趣 意 書

日頃より、地元建設業界に対しまして、格別のご理解とご支援並びにご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、去る9月6日未明に発生した胆振東部地震では、41名（うち苫小牧では2名）の死者を出すという、未曾有の大災害に見舞われました。

特に隣町の厚真町では、北海道で初めて震度7を記録するなど、想定外規模の災害となり、復旧・復興に向けた作業が続いております。

さらには、近年多発している台風や集中豪雨による被害も報告されており、それらを含めた災害復旧工事においては、労働者不足、建設資機材の不足や高騰が顕著に現れており、実勢価格の把握、長期的安定的な予算の確保、工事発注時期の平準化などが、より一層強く求められております。

さらには、品確法、建設業法、入契法の3法に則り、工事発注者と受注者、双方がその責務を全うすることによって、地域社会の活性化と建設産業の再生を図ることができるものと考えております。

これまで私ども建設企業は、地域における主要な産業として、地域の雇用を確保し、経済の下支えとしての役割を果たすとともに、風水害や雪害など災害発生時における迅速な対応や、さまざまな地域貢献への取り組みなど、社会基盤の形成維持に微力ながらも尽力してまいりました。

こうした地域の基幹産業として活力を持続するためには、社会資本が適正に維持・活用され、地域の安全・安心が確保されることが肝要と考えております。

従いまして、一般社団法人苫小牧建設協会会員の総意として、次のとおり要望いたしますので、特段のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年10月31日

一般社団法人 苫小牧建設協会
会長 宮崎 英樹

市 要 望 事 項

- 1 津波浸水予測に基づく津波対策の早期構築
- 1 急傾斜地の崩壊や地すべり等における土砂災害対策の早期実現
- 1 地震時の液状化を防止する工事など、液状化対策の検討
- 1 苫小牧東部地域への企業誘致と開発促進
自動車・航空機関連産業・CCS 実証試験の関連施設等の企業誘致及び地元企業の活用
- 1 新千歳空港滑走路延長の整備促進
 - イ) 地域住民の理解と協力を得た滑走路延長の早期実現
 - ロ) JR線新千歳空港駅から苫小牧方面への便数の増などアクセス向上
- 1 近隣市町との協調による都市基盤の整備促進
 - イ) 平常時には観光、災害時には相互支援等の広域連携が機能的に対応可能となる道路・河川・湖沼の整備促進
 - ロ) 苫小牧登別通（仮称）の道路整備の早期実現
- 1 都市環境の整備促進
 - イ) 市道 東部南通線（臨港道路 東港南通）の勇払橋架替及び道路拡幅
 - ロ) 美沢錦岡通の道路整備促進
 - ハ) 苫小牧中央 I C 工事等への地元企業の活用
 - ニ) 中心市街地への居住の促進
 - ホ) 都市浸水対策及び下水道施設の老朽化対策の促進
 - ヘ) 植苗・美沢土地利用計画の整備促進
- 1 平成31年度公共事業の予算枠拡大並びに発注時期の平準化
- 1 発注工事に関する改善
 - イ) 市と建設協会との意見交換会における回答の反映
 - ロ) 簡易型地域密着一般競争入札に係る、A等級単体土木工事参加資格要件の市内本社企業限定
 - ハ) 労務単価、建設資機材の実勢価格の把握と反映
 - ニ) 受注後の資材調達期間及びその他施工不可能期間等の経費反映